1 茨城県北浦町における化学物質による健康被害原因裁定申請事件

(平成17年(ゲ)第1号事件)

(1) 事件の概要

平成17年2月14日、茨城県北浦町の住民3人から、金属製品製造会社2社及び茨城県を相手方(被申請人)として、原因裁定を求める申請があった。

申請の内容は以下のとおりである。申請人らは、住居付近で操業する被申請人ら会社の工場の事業活動及び敷地内でなされている産業廃棄物の焼却、埋立て等により、身体の健全性が著しく損なわれ、申請人らのうち2人については転居を余儀なくされている。これら申請人らが受けている健康被害は、被申請人ら会社の工場の事業活動等によるものであり、また、被申請人県が適切な指導監督を行わなかったことにより、原因が除去されず被害が拡大した、との原因裁定を求めるものである。

(2) 事件の処理経過

公害等調整委員会は、本申請受付後、直ちに裁定委員会を設け、現地期日を含む14回の審問期日を開催するとともに、平成18年5月19日、化学物質と健康被害との因果関係に関する専門的事項を調査するために必要な専門委員1人を選任したほか、現地調査、現地証拠調べ、申請人本人及び参考人尋問を実施するなど、手続を進めた結果、平成21年8月24日、本件申請をいずれも棄却するとの裁定を行い、本事件は終結した。

なお、裁定書の概要は、以下のとおりである。

平成17年(ゲ)第1号事件

茨城県北浦町における化学物質による健康被害原因裁定申請事件

裁 定

(当事者の表示省略)

主 文

本件申請をいずれも棄却する。

事 実 及 び 理 由

第1 裁定を求める事項

1 申請人Aに平成15年10月初旬以降、同B及び同Cに同年11月15日以降生じている健康被害等(息苦しさ、めまい、どうき、吐き気、頭痛、胃痛、思考力の低下、舌・のどの痛みなど自律神経失調に基づく多様な症状)は、被申請人株式会社Dの金属工作機械用又は金属加工機械の部品及び付属品製造等の事業活動(グースネックの洗浄、溶解鍋の清掃、アルミニウム溶解炉の製作、中古ダイカストマシンの再生、ダイカスト周辺装置の製作等)、株式会社E(被申請人であったが、平成21年5月7日午後5時破産手続が開始し、被申請人破産者株式会社E破産管財人Fが本件手続を受継した。)の非鉄金属ダイカスト製造の事業活動(アルミニウム地金を溶解しての鋳造、ネジ切り、穴あけ、バリ取りなどの加工等)、又は、同株式会社D及び株式会社Eの敷地内における廃棄物の焼却若しくは廃棄物の埋立て等の処理が原因である。

2 申請人らに生じている上記健康被害等は、被申請人茨城県が同株式会社D及び株式会社Eに対する適切な指導監督権限を行使しなかったことにより拡大した。との裁定を求める。

第2 事案の概要

本件は、茨城県行方郡北浦町□□（現・行方市□□）に自宅のある申請人らが、申請人らに健康被害等が発生したのは、被申請人株式会社D（以下「被申請人D」という。）又は株式会社E（以下「E」という。また、本件手続を受継した被申請人破産者株式会社E破産管財人Fを以下「被申請人E破産管財人」という。）の行っていた金属製品製造等の事業活動、又は、各敷地内での廃棄物の焼却若しくは廃棄物の埋立て等の処理による化学物質の排出が原因であり、申請人らの健康被害等が拡大したのは、被申請人茨城県（以下「被申請人県」という。）が同D及びEに対する適切な指導監督権限を行使しなかったことが原因であると主張して、その旨の原因裁定を求めた事案である。

（以下省略）

（裁定書の全文は、「公害等調整委員会」のホームページ <http://www.soumu.go.jp/kouchoi/index.html> から、画面左側メニューの「係属事件一覧」→一番上の「新しい動き・係属紛争事件一覧」の中の右側一番上の「終結した公害紛争事件」と進み、該当する事件を参照）